

個人線量計(ガラスバッジ)による 測定結果をお知らせします

ガラスバッジは、放射線防護を検討するために以前から用いられてきた測定方法です。平成26年度は、**全ての市民の皆さんを対象に、9月11月までの3カ月間、ガラスバッジ配布による外部被ばく線量の測定を行いました。**

測定を希望された58,558人の内、3カ月間計測した46,436人の追加被ばく線量の平均値は0.11ミリシーベルトでした。年齢別に見ると、16歳以上の平均値は0.12ミリシーベルト、15歳以下の平均値は0.08ミリシーベルトでした。前年度までの対象者である15歳以下の平均値は、**図1**のとおり、減少してきていることが確認できます。

●問／放射線健康管理室
☎525-7681



対象者数・配布者数・回収数

平成26年12月25日現在【単位：人】

対象者数	申込件数	申込率	回収数 (期限内提出)	回収数内訳			未回収者 (キャンセルや 紛失・損壊を含む)
				3カ月間 測定者数	2カ月間 測定者数	1カ月間 測定者数	
287,747	58,558	20.4%	46,998	46,436	404	158	11,560

1年間の追加被ばく線量推計値

① 3カ月間の 追加被ばく 線量 (ミリシーベルト)	② ①の 人数 (人)	③ (①×④) 年間線量 推計値 (ミリシーベルト)	④ ③の 人数 (人)	⑤ 割合 (%)
0.1未満	8,962	1未満	44,380	95.57
0.1	27,657			
0.2	7,761	2未満	1,821	3.92
0.3	1,510			
0.4	311			
0.5	127	3未満	197	0.42
0.6	40			
0.7	30			
0.8	14			
0.9	1	4未満	15	0.03
1.0	4			
1.1	1			
1.2	4	5未満	9	0.02
1.3	3			
1.5以上	11	6未満	3	0.01
		6以上	11	0.02

全年齢46,436人の追加被ばく線量の分布を示しています。3カ月間の追加被ばく線量を4倍して、年間推計したものです。

**年間線量の推計値
1ミリシーベルト未満が最も多く、約95.6%です。**

3カ月間測定者の平均値

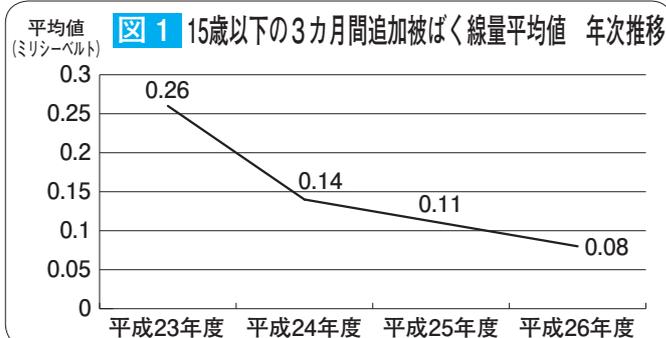
	人数 (人)	追加被ばく線量平均値 (ミリシーベルト)	
3カ月間測定者全員	46,436	0.11	
内訳	0歳～15歳	8,616	0.08
	16歳以上	37,820	0.12

3カ月間の線量を4倍した年間線量の推計値では、1ミリシーベルト未満の方が、約95.6%になります。今回の測定は全市民を対象にしましたので、避難区域内など空間線量率の高い所で仕事をしている方や、レントゲン室へガラスバッジを持ち込んだ方などは追加被ばく線量が高い傾向がみられました。

なお、3カ月間の測定結果で高めの値が出た方などには、保健師などが個別に相談を行うなど、相談対応にあたります。

詳しくは、お問い合わせページをご覧ください。

市医師会や市の放射線対策アドバイザーなどの委員で構成する「市健康管理検討委員会」は、今回の3カ月間で測定された線量から推定した年間積算線量からは、「将来、放射線によるがんの増加などの可能性は少ない」と判断しています。測定された方へ2月上旬から順次、結果を送付しています。



※平成23年度は妊婦も含む



**臨時災害
ラジオ放送**

万一災害が発生した場合、市では、FMポコ(76.2MHz)を「臨時災害ラジオ放送局」として、避難所やライフラインなどに関する緊急情報をお知らせします。●問／危機管理室☎525-3793